

ニセ電話詐欺の高額被害が発生

諫早市内の高齢者女性がニセ電話で

約6,700万円

をだまし取られてしまいました！！

今年5月、80歳代女性の自宅に住宅メーカーの社員を名乗る男から、「諫早市内に新しく介護施設が建設される」「諫早市に居住する高齢者が優先的に入居できる」と嘘の電話がありました。

女性はこの話を断りましたが、男から「別の高齢者に入居の権利を譲ってほしい」と頼まれたため、これに応諾。

すると後日、金融庁職員を名乗る男から

入居権の譲渡は詐欺になる

刑務所に入らないといけなくなる

資産が凍結される

と電話があり、解決金などの名目で現金を要求されました。

その後も弁護士などをかたる男とのやり取りが続き、女性は全資産を現金化して宅配便で送るよう指示され、その話を信じてしまい、7月31日まで7回にわたって、現金約6,700万円を郵送したほか、荷物の引き取り手数料として計25万円分の電子マネーをだまし取られました。



【被害防止ポイント】

- ◎ 公的機関が逮捕する情報を本人に連絡することは絶対にありません
- ◎ 郵送による送金やコンビニなどに売られている電子マネーカードでお金を要求されたら詐欺を疑いましょう
- ◎ 電話の相手から

身に覚えのないお金や権利の話をされたり

現金を郵送して

コンビニで電子マネーを購入して

と言われても、絶対にお金を送ってはいけません。

すぐに警察や家族に相談しましょう。

